

電気電子工学委員会 デバイス・電子機器工学分科会（第26期・第1回）議事要旨

1. 日時：令和6年5月1日（水）10：00～11：50
2. 場所：遠隔会議（主催会場：大阪大学 森勇介委員研究室）
3. 出席者（23名）

大橋委員*，関谷委員*，田中委員*，中村委員*，青砥委員，天野委員，荒井委員，板垣委員，木本委員，河野委員，國分委員，杉山委員，染谷委員，高木委員，谷本委員，為近委員，富永委員，中野委員，西澤委員，藤島委員，松尾委員，森委員，若林委員，森島様（オブザーバー）

（*は会員，他は連携会員，敬称略） ※委員全25名中22名参加により成立

4. 配付資料

資料1：第25期デバイス・電子機器工学分科会名簿

資料2：デバイス・電子機器工学分科会設置趣意書

資料3：第24期デバイス・電子機器工学分科会第4回議事録

5. 議事

(1) デバイス・電子機器工学分科会の体制について

- ・資料1に基づき，出席している委員全員の簡単な自己紹介を行った。
- ・大橋委員から，第26期の幹事の体制として，委員長に大橋委員，副委員長に森委員，幹事に藤島委員・西澤委員が就任することが提案され，承認された。
- ・大橋委員から，九州大学の井上様を本分科会の委員として加わって頂くことが提案され，承認された。

(2) 第25期デバイス・電子機器工学分科会の報告と第26期の進め方について

大橋委員から，資料2に基づき，第26期の本分科会の設置目的が説明された。更に，資料3や参考資料に基づき，第25期の活動内容，特にシンポジウムの内容が紹介された。これに基づき，今年度の活動について，議論や意見交換が行われた。

前回は，応用物理学会との共催で，応物学会期間中に「これからの半導体産業を牽引する人材育成と産学連携」という公開シンポジウムをハイブリッド形式で行った。参加者も100名を超え，録音を不可にすることで忌憚の会意見交換が行われ，盛況であった。

○今年度の活動についての意見例

1. シンポジウム等のイベントを行う。(以下テーマ案)

- ・人材育成, 国際連携, 移民問題, 留学問題
- ・半導体分野のジェンダー・ダイバーシティ, 求められる人材
- ・ラビダス, TSMC 等と関連した地域での人材育成の取り組み
- ・LSTC 委員会との協力
- ・博士進学を推進する企画
- ・若手向けの企画(中・高校生も対象とした)

2. その他

- ・未来の学術構想を提案する(負荷も高い)

本日の議論を踏まえ, 幹事で検討を行い, 議論を進めていくこととなった。

(3) その他

- ・大橋委員から, 分科会の活性化のため, 分科会委員間のメールアドレスを共有することが提案され, 承認された。
- ・大橋委員から, 議事要旨について, まず幹事が案を作成し, 分科会委員で確認後, 委員長が管理し, 公開することが提案され, 承認された。